



34歳 埼玉県議会議員

吉田よしのり

通信 第130号 2008年12月号

新座市野寺2-8-48 (八石小学校となり)

電話 048-483-2777

FAX 048-483-2780

ホームページ <http://www.yoshiday.com>

メール saitama@yoshiday.com

【発行：民主党・無所属の会・県政へのご要望をお寄せ下さい！】

- 1974(昭和49)年7月27日、北海道生まれ(34才)。大阪府寝屋川市三井中央幼稚園、大阪市立新森小路小学校、西東京(旧保谷)市立青嵐中学校、板橋区立赤塚第三中学校、法政第一高校を経て法政大学法学部卒業。卒業後、野村證券㈱に入社。横浜、青森支店等にて資産管理、営業課にて勤務。
- 2000年2月、新座市議会議員に市政始まって以来の3,855票でトップ当選。
- 2003年4月、埼玉県議会議員選挙に16,598票で2位当選。
- 2007年4月、同選挙に23,062票、トップにて再選。無所属、民主党を中心とした会派「民主党・無所属の会」を結成。現在、民主党・無所属の会・政策審議会長。
- 趣味は、旅行、水泳、サイクリング、ドライブ、野球観戦、登山、写真、お茶等。
好きな言葉は「お前がやらずに誰がやる、今、やらずして、いつ出来る。」「初心不可忘」



吉田よしのり県政報告会を開催し、多くの方にお越しいただきました！

去る11月24日、ゲストスピーカーに上田きよし埼玉県知事をお招きし、新座市民会館にて県政報告会を開催いたしました。



当日は冷たい雨が降る中ではありますが、会場が一杯となる100名を超える多くの方にお越し頂きました。

上田知事の話も盛り上がり、予定時間を大幅に超過して終了することとなりました。ただそのため、皆様からのご意見を頂戴する時間が少なくなり残念だったとの意見も聞かれました。今後はさらに積極的に県政報告会を開催する予定です。今後ともお気軽にお越し下さい。当

日は本当にありがとうございました。

県政報告会の中で、①現在の地方政府を取り巻く状況、②その中において埼玉県の現状、③今後の地方、中央政府、埼玉県のあるべき姿についてお話をさせていただきました。時間の関係で全てをお話できませんでしたが、特に③、については、地方分権改革という名の下で行われた改革は、有益であった部分も少しはあるが、「単なる国の財政改革の一端であった」という側面が否めないと指摘しました。



今後は①高福祉高負担か、低福祉低負担社会を選ぶのか、②全国一律的な制度か、地方独自の施策が実行できる制度か、③現金を給付し自分でサービスを選ぶ制度か、現物(サービス自体)を提供する制度か、以上三点について政治家がしっかりと提示し、市民の皆様を選んでいただければならないのではないか、と言うお話等させていただきました。

民衆の「民」という文字は、古く中国の象形文字が起源で、(奴隷の)目を鋭い針で刺し、盲目にした様を表していて、「盲目の奴隷」という意味があるそうです。今の政治には、そういったことがあっては決してならないという、私の政治に対する基本的な話もさせていただきました。

民主党マニフェスト検証!

衆議院選挙は年明けの早い時期にあるのではないかなど、色々な話が聞かれます。今回は第三弾として、三大公約(子ども手当、農業政策、年金改革)の一つである年金改革について考えてみます。

民主党マニフェストでは現行の保険料方式から、基礎年金を全額税方式で賄うと言っています。このためには本来、21-22兆円の財源が必要とされ、仮に現行消費税を全額年金に回したとしても13.3兆円にしかならず不足を補えません。

当初、民主党は消費税3%引き上げを主張していましたが、小沢代表になってからは据え置きを表明しており、約9兆円の不足分は未納者に対する支払い拒否や、高所得者に対する支払いの制限、支給年齢の引き上げ等でカバーしようとしています。これについて、与党は財源の根拠が不明確と批判しています。

さて、2004年の年金改革では「100年安心年金プラン」と呼ばれました。しかしながら、そもそもこの議論の前提となる国庫負担割合を2分の1に引き上げる作業すら混迷している現状です。与党も他党についての批判をしている場合ではないでしょう。

そもそも国民年金制度は1961年からスタートしましたが、当時の平均寿命は70歳前後で、今では10年以上も平均寿命が延びている訳ですから、やはり年金制度につ

いても抜本的な改革が必要と思われれます。

確かに、民主党の年金改革政策については、さらに財源等根拠を示す必要があると考えます。しかしながら、そもそも現状の国民年金の未納率は約4割にも達し、制度は崩壊していると言っても過言ではなく、小手先の改革が通用する状態ではありません。今後、与党、野党ともに、年金制度改革に対する具体案を選挙前までにしっかりと提示して欲しいと訴えてゆきます。

民主党の支持、不支持に関わらず、私は成熟した政治体制においては、政権交代は絶対に必要であると考えています。小手先の改革ではなく、抜本的な改革は政権交代なくしてできません。



(写真上は、昨年(2011年)の新春消防出初式で挨拶している様子です)

12月定例議会が開会される!

12月5日、定例県議会が開会されました。会期は19日までの15日間で、25議案が提案されました。新型インフルエンザに対応するための助成や、看護職員不足に対応するため、院内保育所の整備に対する予算等を盛り込んだ補正予算や、出会い系喫茶の営業を規制するた

めの条例案などが提案されました。

いわゆる「出会い喫茶」の規制を行うための「青少年健全育成条例」は京都や神奈川で条例化されており、全国的にも広がりつつあります。現在、埼玉県内にも越谷や春日部等4箇所の施設が確認されており、それらを規制する条例です。

また、先の決算特別委員会でも明らかにされた、国からの補助金の不適切な使用実態について、おおよそ埼玉でも5千万円程度が確認されました。これらについても今議会中に実態解明のための委員会審議を予定しています。

吉田よしのりの一行日記

(詳細はホームページにて毎日公開中!)

- 11/6 市内地域訪問、学童保育の会
- 11/7 県議会決算審査特別委員会
- 11/8 日本地方自治学会(同志社大)
- 11/9 農業収穫祭、体育協会式典等
- 11/10-11 県議会議会運営委員会
- 11/12 地域訪問、後援会役員会
- 11/13 県議会議案調査、地域訪問
- 11/14 事務所事務処理、来客対応
- 11/15 日本LD学会シンポジウム
- 11/16 四市消防団連合点検
- 11/17 ひばりヶ丘駅頭、時事通信
- 11/18 新座駅頭、決算議案審査等
- 11/19 志木駅頭、県議会総務委員会
- 11/20 清瀬駅頭、暴力追放大会
- 11/21 東久留米駅頭、地域訪問等
- 11/22 商工会青年部、シルバー人材センタ
- 11/23 朝霞市内にて会合、街宣活動
- 11/24 吉田よしのり県政報告会
- 11/25 県議会議会運営委員会等
- 11/26 事務所来客、市内地域訪問
- 11/28-29 群馬県八ツ場ダム視察
- 11/30 市内団体地域清掃活動等
- 12/1 県議会にて打合せ、議案調査
- 12/2 県議会開会、議会運営委員会
- 12/3-4 県議会議案調査等
- 12/5 議会運営委員会、本会議質疑
- 12/6-7 市内地域訪問、餅つき大会